

園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども



クラスの保育目標

・身の回りのことに意欲的に挑戦する。

・秋の自然に触れ、季節の変化を
感じながら散策を楽しむ



室内遊び

おともだち、だ～いすき！

日々の配信や連絡ノートなどでもお伝えしていますが、おともだちがとっても大好きなかもめ組さんの子どもたち。最近では、手を繋いでお部屋の中を散策したり、楽しそうな姿につられて同じ遊びを楽しみ、ニコニコ笑顔が伝染したり！そんな子どもたちがかわいらしく、微笑ましく、とても癒されています。その反面、気持ちが伝わらないと大きな声を上げたり、叩いたり押ししたり体で表現しようとするこも・・・。入園当初に比べ、おともだちという存在が様々なところで大きな原動力になっています。だんだんと言葉が出てきている年齢ですが、咄嗟に自分の気持ちを言葉にすることは難しいので、園では「〇〇だね」と気持ちに寄り添い代弁したり、相手のお友達の気持ちを汲み取り「今は〇〇なんだって、こうやって伝えてね」と保育士が仲立ちをしています。また、集団生活のなかで、なんでも「お友達と一緒に」ではなく、「今はひとりであそびたい」「今はまだ貸したくない」などの気持ちも大切にしており、「かして」のお返事は「いいよ」だけでなく、「(今は使っているから)まってるね」など、YESだけでなくNOという気持ちも汲み取り、伝えられるよう意識しています。そうすると気持ちが落ち着くのか、子どもたち自ら少し時間が経ってから「どうぞ！」とおともだちに玩具を渡してあげられる姿も！ひとりひとりのペースに合わせて、少しずつおともだちとのやり取りを経験し、様々な気持ちや関わり方を学ぶことができたかと思っています。ご自宅でも様々な場面があり、気持ちを上手に主張できるようになってきて成長が嬉しい反面、「こんな時、どうしたらお互いが(ママ・パパ/お子さん)気持ちよく過ごせるのだろう・・・」と感じる場面もあると思います。そんな時はそれぞれのご家庭に合わせた解決策と一緒に考えることができたかと思っていますので、いつでも担任までお声掛けください。

戸外遊び

暑すぎず寒すぎず、お散歩が気持ちの良い季節となりました。お散歩先の中央公園には自然物が多くあり、子どもたちが大好きなどんぐりの宝庫でもあります！先日はガチャポンのカプセルにどんぐりを入れ、宝箱風にして遊んでみると大好評！たくさん集めることに集中する子どももいれば、入れてはこぼしてを繰り返したり、数個入れて蓋を閉め、振って音を楽しんだり・・・。午後はそれをボールに見立てて坂道を転がす遊びを楽しみました！引き続きその季節ならではの体験をたくさんできたらと思っています。



どんぐり拾いに夢中・・・



どんぐりボール
中のどんぐりの数
によって動きや音
が異なります！



生活

【きもちがいい・きもちがわるい】という感覚を知り、伝えられるようになることは立派な成長です。ひとりひとりのペースで、鼻水が出た際には「はな！」、ウンチが出た際には「うんち！」と声を上げて教えてくれる姿が見られています。まだ伝えることが難しい場合も、「気持ちが悪いね」「綺麗になって」きもちがいいね」など、子どもの気持ちに共感し言葉にすることで、「これがきもちわるいんだ」「これはきもちいいんだ」と徐々に言葉と感覚が結びついていきます。

食事

もりもりとよく食べ、おかわりもよくしているかもめ組さん。しかし空腹や美味しさのあまり、咀嚼の回数が少なく感じることも多々あります。【噛む】という動作は顎や口周りの筋力の発達や、味覚の発達にも関係してきます。ご自宅と一緒に食事やおやつを食べる際には「おいしいね」「これは〇〇だね」という声掛けと合わせて、よく噛んでから飲み込むという動作も見せてあげることができると、上手に真似っこしてくれるかもしれませんね！

感染症情報

特に流行している病気などはありませんが、咳、鼻水の症状があるお子様が多く見られています。季節の変わり目ですので体調の変化にご注意ください。

